

寒い日が続いていますが、子どもたちは元気に戸外で遊ぶ姿がみられます。様々な感染症が流行する季節です。体調の変化を見逃さず、十分注意して過ごしていきたいですね。

### もも1くみ

#### 「かんぱーい！」

もも1くみではジュースのおもちゃが大人気です。ジュースを持ちお友だちや保育者と「かんぱーい！」をしたり、コップに注ぐ真似をしたり、かばんにジュースを沢山入れて持ち歩いたりしています。ピンクや黄色、紫など様々な色のジュースがあるのですが、一人ひとりお気に入りの色があるようで、いつも同じ色のジュースを持っている姿も見られます。

保育者がコップを並べると、子どもたちも真似をして並べ始め、ジュースを沢山持ってきてパーティーが始まります。お友だちと嬉しそうに顔を見合わせて「かんぱーい！」と、大きな声で言う姿がとても可愛らしいですよ。これからもあそびの中でお友だちとの関わりを楽しめるように見守っていきたいと思います。

#### 「たべるのだあれ？」

絵本が大好きな子どもたち。中でも「たべるのだあれ？」という絵本がとってもお気に入りです。

“〇〇たべるのだあれ？”のフレーズを言うとみんなが「はーい！」とお返事をしてくれます。始めはじっと見ていた子も、何度も繰り返し読むことでこの絵本が大好きになり、大きな声で「はーい！」と言って楽しめるようになりました。また、動物が沢山出てくるので、「わんわん！」や、「にゃー！」と言って教えてくれます。読み終わると人差し指を出して「もう1回！」のアピールも欠かせません。沢山の絵本に触れて言葉のやりとりを楽しみたいと思います。

### もも2くみ

#### 「ゆきがふったよ」

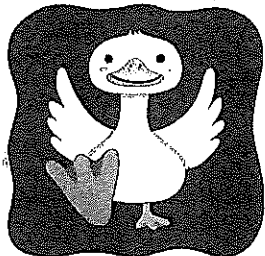
寒い日が続いていたある日、お部屋で遊んでいると雪が降ってきました。「みんな～雪が降ってきたよ～」と、担任が伝えると、窓に集まる子どもたちです。「ゆきー！」や「あー！」と、指を指して大喜びです。窓を見ながら降っている雪をずっと眺めている子どもたち。雪がやんでしまうと、再び窓の方向を指さして、雪がやんだことを教えてくれます。「また降ったらいいね～」と、話すと嬉しそうな表情で頷いてくれました。季節の自然に触れ、いい経験ができた1日でした。

#### 「おままごと大好き！」

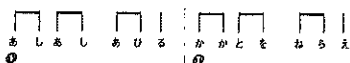
おままごとやお世話コーナーで遊ぶ事が大好きな子どもたちです。赤ちゃんの人形をベッドに寝かせて布団を掛けてあげ、お人形に手を添えて「ねんねこせ～」と、子守歌を歌おうとする姿や、お皿にご飯に見立てたチェーンリングを入れてレンゲで赤ちゃんの人形に食べさせてあげる姿が見られます。

コップを2つ用意して担任やお友だちと「かんぱーい」と言い、飲む真似もしていますよ。

### あしあしあひる



歌い方のポイント  
短いうたなので、歩きながらくり返し元気な歌いましょう。



準備



●立った保育者の足の甲に、子どもを向き合わせに立たせて乗せて、両手を持って支える。

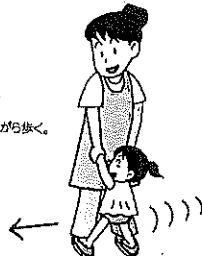
あしあし あひる

リズムに合わせて、子どもを乗せたまま歩く。



かかをとねらえ

歩く方向を変えるなどしながら歩く。





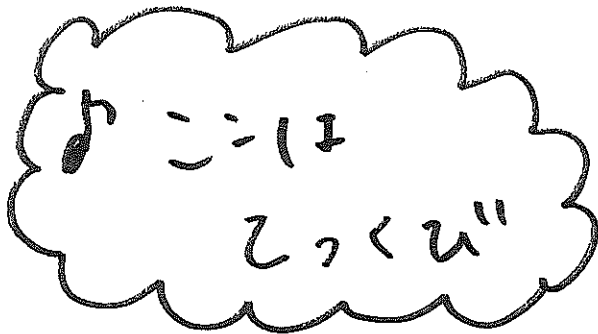
「ふでをもってみたよ」

初めての物事に対して興味津々の子どもたち。筆に絵の具を付けて画用紙に描いてみました。保育者が筆を持つ姿を見て“何が始まるんだろう”と、目をキラキラ輝かせて保育者の周りに集まってきます。保育者が筆を持って書く姿を見せながらお話を始めると保育者の事を真っすぐみて頷きながらしっかりお話を聞けるようになってきました。子どもたちが筆を持つと、「くるくる〜」や「ニョロニョロ〜」と、声に出しながら丸や線をたくさん描いたり、筆を上下に動かして点々を描いたり嬉しそうに描いています。筆を立てて持ち、画用紙に絵の具が出てきて広がっていく所をみて楽しんでる子もいました。出来上がった作品を嬉しそうに「せんせいみてー!」と、保育者に見せてくれましたよ。これからも様々な感触に触れて楽しんでいきたいと思います。

「さんりんしゃにチャレンジ」

園庭にある三輪車に乗ってあそびました。「ピンクにする!」「あかにのる!」などと、乗りたい色の三輪車を選び、足をあげて乗り込んでいます。子どもたちは、三輪車に乗り、ペダルまで足をのばして漕いでみよう頑張っています。初めは漕ぐことが難しくて保育者と一緒に足を動かして進むことが出来ると嬉しくて、にこーっと、満面の笑みを見せてくれますよ。乗ることが増えていくうちに少しずつペダルを漕いで進めるようになってきた子もいれば、地面に足をつけて蹴り上げ前へ上手に進む子もいます。1人で三輪車を進めるようになると「〇〇ちゃん一緒にいこう!」と友だちを誘って一緒に進んだり止まっている子を見つけて「おすよー」と、後ろから押してあげたりと友だちと一緒に遊ぶことをたのしんでいます。

寒さも本格的になってきましたが、戸外でたくさん身体を動かしていきたいと思います。

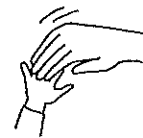


席の上に子どもを向こう向きに寝せて、後ろから子どもの手を持って遊びよう。

こは てつくび  
①子どもの手首を軽く握る。



このひら  
②手のひらに触る。



あじやりやに  
③薬指を軽く持つ。



こりやりや  
④ひとさし指を持つ。



せいだがぼうずに  
⑤中指を持つ。



いしやぼうず  
⑥薬指を持つ。



おさけわがしの かんたろさん  
⑦小指を持って揺らす。

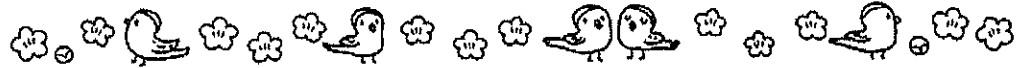


ポイント

○「あじやりやに こりやりや」の言い回しが、子どもたちは大好きです。  
○手あそびとして、おとなと子どもたちが向かい合って遊ぶこともできます。  
○乳児のときから歌って遊んでもらっていた子が、幼児になってからはあそびとして口ずさんでいる姿も見られます。



うたの題名の「かんとろ」は「南太朗」で、熊の燃焼合を小指で見るとこるからきています。「かんとろ」というリズムと音階には、しぜんと口に出るようなやさしい響きがありますね。

「こやぎごっこ楽しいね」

今、ちゅうりっぷ組では生活発表会に向けて「おおかみと七匹のこやぎごっこ」を題材にした表現あそびに少しずつ取り組んでいます。子やぎになりきって言葉のやり取りや歌を歌ったり、踊ったりすることを楽しんでいる子どもたち。その中でも劇中、おおかみと一緒にするかくれんぼは普段の戸外あそびの時から楽しんでいるのでお気に入りです。見つからないように小道具を使って一生懸命隠れる子や、「おおかみさんまだこないかな?」と、ちらっと覗いて確認してみる子など様々な姿が見られます。おおかみが探しに来て「みつけた!」と、言う「ばあ!」と顔を見せる姿がとても可愛らしいです。手遊びとダンスではピアノ演奏や曲が始まると元気いっぱい歌ったり、踊ったりしています。始めは少し恥ずかしいと感じていた子も、近くで保育者が一緒に踊ってみると真似をしながら楽しんで参加できるようになってきました。舞台に立つことも初めてで、たくさんのお客さんの前に立つと緊張してしまうと思いますが、他のクラスに見てもらえる機会を作り、本番まで少しでも慣れていけたらと思います。温かい拍手で応援してください。

「しろくまのパンツ」 作・絵 tupera tupera 出版社 ブロンズ新社

パンツをなくして困っているしろくまさん。そこへ心配したねずみさんがやってきて一緒にしろくまさんのパンツを探しに行くお話です。しましま柄や花柄など色んな模様や大きさのパンツが出てきます。「誰のパンツ?」と問いかけると「パンツの柄を見てぶたさんのパンツだ」「これはねずみさんのパンツかな」と、だれが履いているか予想する姿が見られます。ページをめくり、それぞれのパンツを履いた動物たちが出てくると「ぶたさんのパンツ大きいね」と、色んなパンツの柄に興味津々で見えていますよ。「これしろくまさんのパンツ?」と、問いかけるページがお気に入り、違う違う!と、盛り上がる子どもたちです。

